

「スーパーシティ」鍵を握る規制緩和

◆内閣府は「スーパーシティ スマートシティフォーラム2019」を開催

内閣府は2019年6月29日大阪府立国際会議場で「スーパーシティ スマートシティフォーラム2019」を開催した。「スーパーシティ」構想は18年10月の未来投資会議の提言からスタートしたもので、AIやビッグデータなどの先端技術を活用し、第四次産業革命を体現する「まち」を日本で実現するというものである。

今回のフォーラムは、EU、中国、米国、インドなどの海外からスマートシティの取り組みを進めている専門家を招待し、国内からは有識者懇談会メンバーをはじめとした、新しい都市づくりに関わっている専門家を集めて、基調講演と10のテーマ別セッション（表）からなっていた。そのなかには、中国の自転車や車のシェアリング、ケータリングなどのインターネットを使ったサービス状況の紹介や、インドでの12億人の生体認証IDと補助金直接給付の取り組み、5Gで期待されているAIタクシーやAI運行バスなどのモバイルサービス、MaaSがスーパーシティでどのように変革しようとしているのかなどの興味深い内容のセッションがあった。また、先端技術やソリューションを有する28の企業・団体によるブース展示があり、スーパーシティに関する自治体向けの相談会も設けられていた。

表 10のテーマ別セッション：スーパーシティおよびそれを取り巻くスマートシティをめぐる動向

No.	セッション名	No.	セッション名
①	デジタルスマートシティの先駆的事例	⑥	大阪の考えるスーパーシティ
②	世界のシティプラットフォーム	⑦	地方創生とスーパーシティ
③	第四次産業革命とスマートシティ	⑧	スーパーシティ/スマートシティのアーキテクチャとAPI ～都市間連携の仕組み～
④	インドにおけるアドハープロジェクト成功の秘訣とアドハープロジェクトに基づく金融サービスの新展開	⑨	情報が拓く“いのち輝く未来社会”の実現に向けて
⑤	5Gで実現するスーパーシティ	⑩	MaaSの現状と将来

◆以前のスマート化の取り組みと何が違うのか

スマート化は00年代はじめ、小泉内閣の頃から最先端の技術を使った省エネ、スマートメーター、スマート家電など自由に進められてきた。代表的なスマートシティは藤沢SST（サステイナブルスマートタウン）で、10年から最先端の技術を活用し省エネルギーに特化している。太陽光発電システムと蓄電池が標準装備されている戸建て住宅は、HEMS（Home Energy Management System）を搭載し、

家庭内の電気使用量が「見える化」され、省エネをサポートしている。

このように、今までは単独の課題を解決するスマートシティを実証実験してきたが、他の地域への展開もできず、社会実装には程遠い状況になっていた。

今回は今までの取り組みと明確に区別し、「スーパーシティ」や「Society5.0」と称し、IT化やIoT、ビッグデータ、AI、ロボット技術を活用し、社会の在り方を根本から変える、都市計画を目指している。

コンセプトとして自動運転、ドローンによる配送、すべての分野で行われるキャッシュレス化、遠隔医療、遠隔教育など複数の社会課題を全て解決できる「まち」

を一つのデータ基盤で構築し、他の「まち」と連携できるアーキテクチャにする。(図) さらに「スーパーシティ」は実証実験にとどまらず、生活に密着した早期の社会実装をゴールとしている。



図 世界最先端の日本型スーパーシティ

出典：「スーパーシティ」構想について 内閣府

◆ 「スーパーシティ」を支える技術と日本における社会実装への障壁

12年にディープラーニングが出現し、AI技術が急激に進化した。35年までに生産性が40%高まり、多くの人の職がなくなってしまうともいわれている。G20 で訪日したフランス大統領マクロン氏は、IoTやAIなど、デジタル技術の発展が「社会を不安定にする」と強調した。そして、「前向きな技術革新を起こすには、どんな倫理観を持つべきかという共通のルールが必要だ」と指摘した。G20の首脳宣言では、日本政府が目指す「Society5.0」で注力する「人間中心」の未来社会の概念を共有し、デジタル化の包摂的で持続可能な、安全で、信頼できる革新的な社会の実現に向けて、国際的な政策討議を促進することを合意した。

日本は規制緩和や制度変更の難しさが社会実装の障壁になっていると、有識者会議の委員は指摘している。今までは各省庁が独自のスマートシティ計画を遂行し、他省の規制で実現が難しいといった、縦割り行政の弊害が出ていたが、今回は連携して進めている。先進各国の都市には共通の課題があり、国を超えた連携によって、社会実装を加速し、住民合意の「まち」を実現してほしい。 【成田誠】